

ディープフリーザーの停電時の対応等について（令和3年2月16日）

1 ディープフリーザーの設置場所について

令和3年3月末までに国から小金井市に配置される予定のディープフリーザーは2台で、2月は市内医療機関に1台、3月は保健センターに1台設置される予定となっている。なお、4月以降の設置場所は調整中。

2 市の施設における自家発電機の設置状況

ディープフリーザーを設置する保健センターには自家発電機が設置されているが、老朽化しており、メンテナンス等適切な処置を行わなければ使用することはできない。なお、新庁舎への執務室の移転が予定されているなか、仮に現在設置されている自家発電機と同等のものを購入・設置したとしても、新庁舎建設計画において非常用発電機設備についても計画されているため、保健センターから新庁舎に移して使用することはできないものと見込まれる。

その他、現在健康課で把握している自家発電機が設置されている施設は、「小金井 宮地楽器ホール」であり、ほかは確認中である。

3 停電時の対応案

保健センターにおいては、今年度末にカセットボンベ式小型発電機を購入予定であり、コンセント形状等は配置されるディープフリーザーにも使用できる規格となっている。この発電機を使用した場合、約2時間程度の使用が見込めるため、カセットボンベの交換により継続して使用することを想定している。

なお、現時点においては、自家発電機の設置はディープフリーザーの設置要件とはなっておらず、自家発電機を備えていない医療機関等にも設置は可能との見解が国から示されている。